

1. 件名：福島第一原子力発電所 1号機燃料デブリ冷却状況の確認試験に係る面談
2. 日時：令和元年10月29日（火）13時35分～14時45分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
知見主任安全審査官、松井安全審査官、山中係員、田上係員、高木技術参与  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当2名

#### 5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社から、福島第一原子力発電所 1号機における燃料デブリ冷却状況の確認試験について、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 試験目的
  - ✓ 緊急時対応手順の適正化を図ること等を目的に、注水停止試験を行い、気中への放熱も考慮したより実態に近い温度変化の評価（熱バランス評価）の正確さを確認する。
- 試験内容及び結果（速報）
  - ✓ 本年10月15日～17日に1号機の原子炉注水を約49時間停止。
  - ✓ 原子炉圧力容器（RPV）底部温度や原子炉格納容器（PCV）温度の上昇量は小さく、注水停止中の温度上昇率は $0.01^{\circ}\text{C}/\text{h}$ 程度であった。
  - ✓ ダスト濃度、希ガス（Xe135）濃度等のパラメータに異常はなかった。
  - ✓ RPV底部温度、PCV温度等の推移データ
- 試験スケジュールについて
- 今後について
  - ✓ 実際の温度上昇と予測との差異、温度計の設置場所やPCV水位の変動との関連等を評価予定
  - ✓ 3号機の注水停止試験については、1号機の結果を踏まえ、本年度中に実施予定

○原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、今回の試験データの評価ができ次第、説明することを求めた。

#### 6. その他

資料： 1号機燃料デブリ冷却状況の確認試験の結果（速報）について